

東京と共に躍動する同窓会関東支部

・東京2020オリンピック・パラリンピック大会へチャレンジ精神で走れ・



第31号

野崎耕二書(志30年卒)
発行所 薩南工業高等学校 同窓会関東支部
編集発行人 福留 勲
編集 建築科
発行日 平成30年4月28日
印刷所 株式会社 盈進社
東京都千代田区飯田橋2-3-2
TEL 03(3262)3471

平成二十九年 総会模様

関東支部総会は、六月二十四日(土)上野の森臨外ゆかりの宿「水月ホテル 鷗外荘」で、会員と来賓をあわせて約百名の参加により開催されました。

第一部 総会

昨年からは会長に就任した福留会長より挨拶がありました。その中で、関東支部発行の会報誌「関東さつなん」は、創刊以来休むことなく継続して、今回で第三十号を発行することができたことに感謝すると同時に、このことは関東支部にとっても母校にとっても誇りにできるものである。今後も皆様のご協力により、母校および支部の情報を届けたいとの抱負が述べられました。

続いて、山崎幹事長の会務報告のあと、会計より年会費削減の提案があり、総会出席者全員の賛同を得て、平成三十年より年会費を二千五百円に減額することを決定しました。

第二部 特別講演

まちづくりは、行政と住民の協力なしには発展しない。昭和四十年、機械科卒業の岩井宗志(旧姓大山)先輩は、流山市役所で都市計画・企画などの分野に永年勤務した経験があり、まちづくりへの思いは人一倍強かったことから、今回の特別講演では、「次の世代へ：誇りをもって語れるまちづくり」と題して、その思いを話してくださいました。「まちづくりは口にするだけではだめで、行動すること、当事者意識を持つこと」、繰り返し強調された言葉が印象に残る講演で、有意義な時間を共有できました。(講演内容は後記)

第三部 懇親会

懇親会の冒頭、草原睦雄氏(建築科昭和四十六年卒業)による独唱「知覧の桜」が披露され、続いて来賓挨拶では、関東さつなん川辺会の川野会長より関東支部とふるさと会とのかわりについて協力をお願いしたいとのご挨拶がありました。

今年も恒例の関東さつなんの会の着物姿での踊り、ビンゴゲーム、各科のEメール交換、校歌の合唱と楽しく有意義な同窓会となりました。

今後とも活力ある関東支部に取り組みたいので、皆様方の支部活動への積極的な参加、及び、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。同窓会関東支部総会を一度体験してみませんか。

編集部



笑顔溢れる同窓生(普通科)



平成29年度総会懇親会模様(一人ひとり楽しそう)

東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催控え、関東さつなん同窓会の皆さまと協働の気持ちで会報「関東さつなん」第31号を作成したい考えから平成29年7月にオリンピック・パラリンピック関連の施設を中心にステップアップ見学会を実施しました。その結果、取材・編集への参加と多くの情報(原稿・写真)をお寄せ頂きました。



いっしょに身を立って人のため(探鉱冶金科)



「関東さつなん南の会」の舞い



川野関東さつなん川辺会会長



母校有田先生知覧ねがた祭Tシャツ紹介



根性やる気は二倍(電気科・情報技術科)



特別講演 平成二十九年発表
次の時代へ
「誇りをもって語れるまちづくり」
講師：岩井宗志(昭和四十年 機械科卒)
「その後を訪ねて現地取材へ」 編集部

特別講演の主旨

はじめに、ビデオ(DVD)を使い「まちづくり」の一例として、岩井先輩が所有している本造古民家で、平成十九年に国登録有形文化財の指定を受けたまちかど博物館「武蔵屋」の紹介がありました。

歴史的には江戸時代末期の築造で、旅籠屋などを営んでいたこともあり、市内では数少ない貴重な伝統的木造建築物です。その武蔵屋が、平成二十三年の東日本大地震に甚大な被害を受け、一時は解体の危機に直面しました。しかし、この建物が地域交流の場所として広く市民に開放、愛されてきたことが幸いして、国や市から復興のための助成金を受ける事ができました。

また、資金不足を地元の有志(保存会)がボランティア活動で協力してくれたことが原動力となつて、工期約一年を掛け、平成二十七年十月に武蔵屋は見事に復興しました。ここまでできたのは行政やボランティアなど多くの仲間の後押しがあったからこそだと、そのことを考えると復興できたことは幸運であつたと振り返っていました。

氏の住む印西市は千葉県北西部に位置し、北側に流れる利根川に並走するJR成田線(JR我孫子駅から成田駅間の三・九km、十駅)沿線は近年、急激な人口減少にもない、駅前商店街はシャッターが下り人通りもマバラで、衰退の様相を呈しているといえます。最寄り駅の木下(きおろし)駅も例外ではないことから、住民と協議し、地域の活性化を模索する中、氏が中心になって平成二十一年公益活動市民団体「木下(きおろし)夢探訪」を結成しました。

活動のひとつとして、平成二十五年までの期間でしたが、三月の雛祭りに合わせてビッグ雛人形(木製の高さ6mの男雛と五

mの女雛など)を作成・展示を行いました。その展示期間中は、日本最大の雛人形を一目見ようと、約一万人の来場者が押しつけていたとのことでした。

また、駅前では月に一回、第一土曜日に骨董市が開催され多くの骨董ファンが訪れていることなど、かつての木下駅前商店街の賑わいを取り戻し、成田線の活性化につなげたい。さらに、将来はSL機関車も走らせてみたいなど、多くの夢を話されました。

講演全体は終始、パワーポイントを駆使したわかりやすい説明で、出席した多くの同窓生も自然と見入り納得されていました。今回の講演で、氏の一貫した姿勢は、仕事そして生活の場と決めた印西市への限りなく深い愛情とまちづくりへの強い思い。また、多くのアイデアや実行力は運だけでなく、高校生時代に培った逆境に負けない強い精神力と夢を持ち続け生き抜いてきた結果であり、その誇りを次の世代に伝えていきたいという情熱を強く感じることができました。

編集部



まちかど博物館「武蔵屋」

本誌ガイド

- * 東京と共に躍動する同窓会関東支部 平成二十九年関東支部総会特別講演懇親会模様... 1
- * 同窓会本部会長・新旧学校長・支部会長挨拶... 2
- * 関東支部発足六十周年に思うこと... 2
- * 関東さつなん同窓会の歌誕生「ホームページ開設について」... 3
- * 「母校だより」・「母校との絆」... 3
- * 特集
- * 「変貌する東京の街 過去 現在 未来」... 4・5
- * 会員だより・訃報... 6
- * 「江戸の町づくりが東京の都市骨格」... 7
- * 会務報告 平成三十年関東支部役員名簿(案) ... 8

年会費納入のお願い

薩南工高同窓会関東支部は、これまで皆様方のご協力のもと「活力ある支部活動」を心がけ運営してまいりました。今日まで休むことなく活動できましたのも、皆様方のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年の総会で、年会費について次の4点を検討いたしました。①持続的に年会費を払いやすくする。②より多くの会員に納入をお願いする。③経費節減に努める。④現在の年会費3000円を2500円にする。以上の案件を討議の結果、この提案は全会一致で了承されました。

ぜひ、同窓会活動の趣旨をご理解いただき、年会費の納入をよろしくお願い申し上げます。支部年会費は2,500円です。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

同窓会関東支部総会のお知らせ

日時 平成30年6月23日(土) 正午(12時)
場所 文豪 森鷗外ゆかりの宿 「水月ホテル 鷗外荘」
東京都台東区池之端3-3-21
交通 JR上野駅公園口又は不忍口から徒歩15分(案内図参照)
京成上野駅池の端口から徒歩10分
東京メトロ千代田線根津駅2番出口から徒歩8分

特別講演 永野隆一氏(知覧町出身)
演題 「お笑いトーク 脳活性体操」

関東さつなん同窓会の歌

作詩：桑木野 智 (電気科 S41 年卒)
 陸雄 (建築科 S46 年卒)
 佐藤 美晴 (佐藤 美晴)
 作曲：ジマー 高峰 (電気科 S47 年卒) 娘
 旧姓【中村 高峰 (2018年3月作)

さつなんはなれていなくとつぎ
 ちかごしはなれていなくとつぎ
 おもいだすのははまのうんか
 おもいだすのははまのうんか
 ゆめとうきぼるをまはて
 んじしきやみをかたむつと
 あのかおあのかおあのかおあ
 あのかおあのかおあのかおあ
 あのかおあのかおあのかおあ
 あのかおあのかおあのかおあ



ごあいさつ

日頃より関東支部の皆様方には、本部同窓会の運営に対しご協力、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

本部同窓会会長 橋口 良一

学校・地域が丸となって地元豊玉神社、水車からくり事業に取り組んでおります。皆様には再度のお願いで誠に恐縮ですが、今後とも母校発展のため絶大なご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

とここで私たちは、百十周年を前にして歴代先輩方のご功績に感謝し、その功績を学び、学校・同窓会・PTA三者相提携して次の時代に向けて母校の更なる発展に尽くさねばなりません。今や学校を取り巻く環境は



母校を想う

会員の皆さまには、日頃より支部活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

母校は、明治四十二年(一九〇九年)に開校してから今年で創立一〇九年になります。

開校から現在までの一世紀にわたる長い歴史ある沿革をたどつてみますと、社会情勢の影響を強く受け、それぞれの時代に必要

その結果、これらの機能を活用することにより社会経済環境を大きく変化させてきています。ものづくりに対する技術も大きく変化し、あらゆる分野でのハード及びソフト部門などを見ても合理的かつ効率的になってきています。現在の在校生が学ぶ教育の内容もハイレベル化し、それに適応できる高度な能力を要するところだと思います。

社会環境が大きく変化している現在も、開校当時の教育方針が目覚ましく発展してきました。



ごあいさつ

新薩南工業高等学校校長 大保 智

同窓会委員のみなさまには、ますますご健勝で活躍のことと心からお慶び申し上げます。

私はこの度、定年退職された前校長 楠木 正人の後任として赴任してきました。

創立一〇九年の伝統と風格を備えた学校で勤務させていただきますことには大変ありがたく感謝しております。

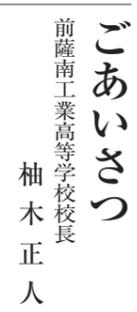
校訓である「自主・向学・和協」のもと、生徒諸君が将来の夢に向かって高校生活を送れるよう皆様方のお力添えをいただきながら薩南工業高等学校のために誠心誠意、努力していきたいと思っております。

前校長 楠木 正人 同様よろしくお願いたします。

継ぎ、生かされていることに、母校のものづくりに対する技術教育の深さを強く感じます。

平成二十八年に人形劇で使用する「水からくり水車」の制作昨年九州大会県予選での野球部の活躍(準々決勝進出)、ソフトボール部全国大会出場のニュースなど在校生が活躍する多くの情報が届くことにより、後輩の力強く前進する頼もしいと、母校への誇りを感じると同時に支部にとっても大きな盛り上がりにつながります。

これからさらなる活躍を期待するとともに、支部としても母校をより一層応援していきたいと思っております。



ごあいさつ

前薩南工業高等学校校長 楠木 正人

同窓会委員のみなさま、日頃より母校の教育活動に対し、深いご理解と暖かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

私がたいごに、平成三十二年度入試においては、建築科が定員四十名を確保しました。また、機械科及び生活科学科も定員の八割を確保することができました。

私事ながら、平成三十年三月三十一日付けをもって定年退職を迎えました。

これまで四年間たいへんお世話になりました。

終わりに、同窓会委員のみなさまのますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

この情報が届くことにより、後輩の力強く前進する頼もしいと、母校への誇りを感じると同時に支部にとっても大きな盛り上がりにつながります。

これからさらなる活躍を期待するとともに、支部としても母校をより一層応援していきたいと思っております。



関東支部発足六十周年に思うこと

昭和三十四年建築科卒 繁村 隆巳

母校が来年、創立一〇周年を迎えようとしている中で、関東支部は発足六十周年を迎えました。昭和三十三年五月に東京支部として設立以来、会を支えて下さった諸先輩のご苦労と献身に心より御礼申し上げます。

「変革のない歴史に進展はない」と言われますように、支部のその時々の流れに対応した幹部の舵取りが適切に遂行され、あらゆる場面でさまざまな勉強をする機会に恵まれましたこと、たいへんうれしく思っております。

過去の支部運営の中で特筆すべき活動実績を挙げますと、

- 1 総会時の特別講演実施
- 2 会報「関東さつなん」の継続的発行
- 3 実用文章講座の定期的開催(講師 永崎 一則先輩)
- 4 関東支部発足五十五年記念誌の出版

などがああります。中でも会報発行や記念誌出版は一定レベルの内容を保持しながらの編集で、会員や配布先の方々に好評をいただいております。その背景には今も続いている永崎先輩(話力総合研究所所長)による丁寧な添削やさまざまな指導があり、深く感謝申し上げます。

ところで、この六十周年の節目に発行する会報三十一号に掲載する記念寄稿を編集長より永崎先輩にお願いしましたところ、別誌の「戦前、戦中、戦後九十

★誕生★
 「関東さつなん同窓会の歌」
 「さつなん はなれていくとしつき」

関東さつなん同窓会が母校への愛着を持ち、仲間と切磋琢磨し合う姿を感じてほしいと思っております。歌い、人生を楽しく過ごすという想いで作詞しました。幸いにも関東さつなんに縁のある「ジマーみはる」こと佐藤美晴さんに曲をつけていただきました。佐藤美晴さんは電気科昭和四十七年卒(旧姓中村)高峰さんの娘さんです。母校のため快く引受けていただきありがとうございます。佐藤美晴さんは広く作曲など音楽演奏活動が活発です。機会があれば得意なホルン奏者としての演奏を聴いてください。

★ホームページ開設について

関東さつなんでは、ホームページの開設を決めました。少子高齢社会により関東地区就職者も減少状態です。

今後、同窓会を存続させるためには若年層の参加を進める情報量を増やし、誰でも出席可能な状況が必要であると考えます。これまでの会報だけの情報ではなく母校の活動、故郷の情報等を発信するホームページを開設します。

当初から完璧なホームページは無理ですが、皆様のご協力を得てさまざまな情報を全国の薩南同窓生とも繋がっていただければと願っています。開設は六月から、アドレスは次のとおりです。

<http://satsunan-kantouneiv/>
 事務局長 昭和四十五年電気科(五回生) 阿久根 学



永崎一則 水彩画

靖街道

永崎一則 作

永崎先輩懇談会 H.30.01.18

都市大型ビルから集合住宅の総合リニューアルまでを手掛ける (ISO9001:2000認証取得済)

建築技術者 随時募集中 (採用担当:小出 順京)

株式会社 **イワサ&M's**

代表取締役 増田 聡明
 専務取締役 相星 隆志 (S46年 建築科卒)

〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目21番17号
 電話 03 3813 7666(代表)
 ☎ 0120-50-8183
 ホームページURI <http://www.iwasa-m.com>
 Eメールアドレス iwasa-m@iwasa-m.com

支店 横浜・新潟

ワイヤーカット加工専門

株式会社 **吉原精工**

代表取締役 吉原 順二

〒252-1111 神奈川県綾瀬市上土棚北 4-11-5
 Tel 0467-78-1181
 ホームページ www.kiyoharasei.co.jp 検索

SSS 建築土木・設計施工

新日鉄住金エンジニアリング(株)販売施工店

サンエス建設株式会社

一級建築士 田中 清美
 会 長 (S32年 建築科卒)

【本社】 〒115-0045 東京都北区赤羽1-6-7
 Tel 03-3903-7858 Fax 03-3903-7859

【支店】 〒331-0852 さいたま市大宮区桜木町4-296-1
 Tel 048-643-5571 Fax 048-643-5572

<http://www.sss1.co.jp>

話力総合研究所

所 長 永崎 一則
 (昭和19年 建築科卒)

〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵 3-10-17
 TEL 048-861-1010
 FAX 048-861-1010

母校だより

建築科 機械科 情報技術科 生活科学科

建築科

建築科は現在、計八十七名の生徒が在籍し、協調性と責任感の確立、時代の変化に対応できる技術者の養成を目標として、日々の教育活動を実践しております。

近年、建設業界では人材不足が重要課題として問題視されていますが、本校では関係協会等と連携して、職場実習や出前授業の依頼業界の情報確保に努めています。

すると、建設業界への就職率はとても高く、本年度は就職者の七十五%が建設業関係に決まりました。

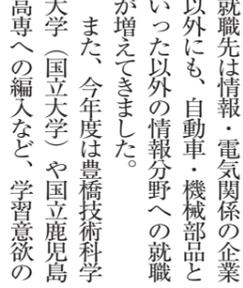
これも偏に、先輩方の活躍とお力添えのおかげと感謝しております。

さて、生徒たちは今年度、建築施工管理や建築CAD、国家技能検定である建築大工に多くの者が挑戦し結果を残しています。

さらに、県の設計競技においては、久しぶりに「学校賞」を頂き、個人でも金・銀と上位の賞を頂くことができました。



インターンシップ



企業ガイダンス

情報技術科

生徒たちは一つのチャレンジが切っ掛けとなり互いに切磋琢磨して三年間で大きく成長し、結果するよう、これからも指導してまいります。

先輩方のご支援をよろしくお願いたします。

関東支部同窓会の皆様には、日ごろよりお世話になりありがとうございます。

今年度も先輩方の功績のおかげで、多くの求人をおたたくことができ、一〇〇%の内定を実現できました。

就職先は情報・電気関係の企業以外にも、自動車・機械部品といった以外の情報分野への就職が増えてきました。

また、今年度は豊橋技術科学大学(国立大学)や国立鹿児島高専への編入など、学習意欲の高い生徒が育つてきております。

薩南工

設計競技で賞総ナメ

努力実る 今後に期待



設計競技で賞総なめ (鹿児島建設新聞)

呉建築士会(守直和弘会長)主催の第53回高校生建築設計競技で薩南工業高校の中池琳矢さん(建築科2年)が金賞、武藤一柳さん(同)が銀賞、池田しんじさん(同)が奨励賞を受賞。さらに、入賞者が多かった同校が学校賞にも選ばれた。10月21日4面に既報。

テーマは「家族みんな、で明るく暮らす住まい」。中池さんは「実際に自分も住むことを前提にプランニングした。将来は3人前からの設計に必要なコネクティブのつくり方など、夏休みや放課後を利用して試行錯誤を重ねた。181作品の中から選ばれた。守真会長は「去年より参加が多かった。どの作品も完成度が高くなっており、学生のレベルが上がっている」と実感。今後を期待したい」とエールを送った。

重久修二教諭は「今年生は就職活動もあり提出が難しかったが、2年生は全員が取り組んでくれた。この経験を生かして来につなげてもらえれば」と話した。

機械科

機械科では「人間味のある工業人の育成」を目標に掲げて運営指導を行っています。

対外的な活動として今年度は、溶接技術競技会と機械工作部の活動が挙げられます。

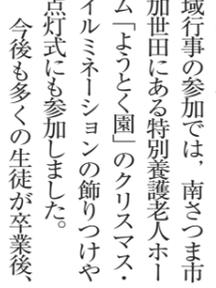
溶接技術競技会は、本校卒業生の有蘭先生が5名の生徒を指導し、初めて競技会に参加したのですが、県大会で団体三位、個人で二年生の東直輝君が二位の成績となり、九州大会で東君は九位の成績を上げました。

定を受けていて、バイオコークス等のエネルギー関連の研究を行い、各地の催し物に参加して出前授業を行っています。

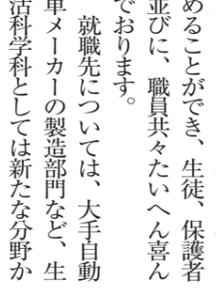
この度、機械工作部の取り組みを全国ユース環境活動発表大会に応募した結果、「環境省キャリア形成支援プログラム」A形に選ばれ、埼玉県の企業見学に三年生の松元敦哉君と二年生の松元風喜君が参加することになりました。旋盤加工の様子を二年生の原口隆成君。



溶接技術競技会参加生徒



溶接実験中の2年生松元風喜君

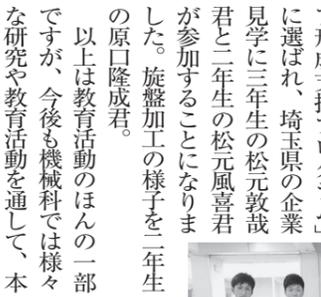


溶接実験中の3年生松元敦哉君

機械工作部は、本校が経済産業省資源エネルギー庁主催によるエネルギー教育モデル校の指定を受けていて、バイオコークス等のエネルギー関連の研究を行い、各地の催し物に参加して出前授業を行っています。

この度、機械工作部の取り組みを全国ユース環境活動発表大会に応募した結果、「環境省キャリア形成支援プログラム」A形に選ばれ、埼玉県の企業見学に三年生の松元敦哉君と二年生の松元風喜君が参加することになりました。旋盤加工の様子を二年生の原口隆成君。

以上は教育活動のほんの一部ですが、今後も機械科では様々な研究や教育活動を通して、本



溶接実験中の2年生松元風喜君



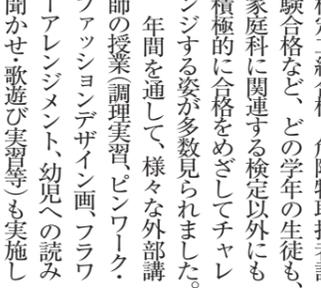
溶接実験中の3年生松元敦哉君



イルミネーション点灯



テーブルマナー講習



外部講師の先生によるピンワーク実習



修学旅行

祝 関東さつなん 31号

土木科卒有志

桃 蘭 和好 (S35) 東京都八王子市

福 留 勲 (S44) 千葉県鎌ヶ谷市

新 原 亨 (S49) 千葉県鎌ヶ谷市

西 野 洋一 (S55) 東京都江戸川区

市 坪 勝則 (S58) 千葉県松戸市

同窓会の皆様には、平素から様々なご支援をいただき、感謝申し上げます。おかげ様で、生活科学科三年生二十六名、全員が卒業し、就職先が決まりました。

今年度も、他学科同様、生活科学科でも様々な資格試験や検定試験に取り組みました。

三冠王(家庭科技術検定三種目(食物調理・被服製作洋服和服)一級取得)については、二名が挑戦し、結果が出るのを待っている状況です。また、普通科の先生方や工業科の先生方にもご協力をいただき、実用英語技能検定二級合格、危険物取扱者試験合格など、どの学年の生徒も、家庭科に関連する検定以外にも積極的に合格をめざしてチャレンジする姿が多数見られました。

年間を通して、様々な外部講師の授業(調理実習、ピンワーク、ファッションデザイン画、フラワーアレンジメント、幼児への読み聞かせ・歌遊び実習等)も実施し

おいても、短大の英文科に合格を決めた生徒もおり、卒業後、様々な分野で活躍し、後輩たちにつなげてくれるのではないかと期待しています。

今年度も、他学科同様、生活科学科でも様々な資格試験や検定試験に取り組みました。

三冠王(家庭科技術検定三種目(食物調理・被服製作洋服和服)一級取得)については、二名が挑戦し、結果が出るのを待っている状況です。また、普通科の先生方や工業科の先生方にもご協力をいただき、実用英語技能検定二級合格、危険物取扱者試験合格など、どの学年の生徒も、家庭科に関連する検定以外にも積極的に合格をめざしてチャレンジする姿が多数見られました。

年間を通して、様々な外部講師の授業(調理実習、ピンワーク、ファッションデザイン画、フラワーアレンジメント、幼児への読み聞かせ・歌遊び実習等)も実施し

おいても、短大の英文科に合格を決めた生徒もおり、卒業後、様々な分野で活躍し、後輩たちにつなげてくれるのではないかと期待しています。

今年度も、他学科同様、生活科学科でも様々な資格試験や検定試験に取り組みました。

三冠王(家庭科技術検定三種目(食物調理・被服製作洋服和服)一級取得)については、二名が挑戦し、結果が出るのを待っている状況です。また、普通科の先生方や工業科の先生方にもご協力をいただき、実用英語技能検定二級合格、危険物取扱者試験合格など、どの学年の生徒も、家庭科に関連する検定以外にも積極的に合格をめざしてチャレンジする姿が多数見られました。

年間を通して、様々な外部講師の授業(調理実習、ピンワーク、ファッションデザイン画、フラワーアレンジメント、幼児への読み聞かせ・歌遊び実習等)も実施し

人と環境への思いを持って 地元とともに未来を築く。

橋口建設株式会社 Hashiguchi Construction CO.,Ltd.

ISO取得(品質・環境・労働安全衛生)

代表取締役 橋口 良一 (S41年土木科卒)

専務取締役 北 寛郎 (H4年建築科卒)

〒897-0133 鹿児島県南九州市川辺町下山田989

Tel: 0993-57-2511 Fax: 0993-57-2034

URL: http://hasiken.co.jp/ Mail: hasiken@mocha.ocn.ne.jp

一 母 校 と の 絆



2017文化祭



入学式



夜の学校説明会



ものづくりコンテスト



修学旅行



ソフトボール部のメンバー

「第三十六回鹿児島県高等学校新人ソフトボール競技大会」で薩南工業高校ソフトボール部が地元知覧開催となった決勝戦で躍動し、初優勝を飾りました。今年三月十七日〜二十日に高知県高知市で行われる全国大会に出場することになりました。県代表として堂々と精いっぱい戦ってきたださ

い。地元の知覧開催となった決勝戦で躍動し、初優勝を飾った大竹野利勝監督は「選手が自主的に取り組んだ成果。本当によくやってくれた」と目を細めた。

また、同窓生より多くの激励の言葉と募金を頂きました。誠に有難うございました。



第70回体育祭



修学旅行



ものづくりコンテスト



修学旅行

江戸の町から東京の街へ

江戸の町を救った「勝・西郷会談」

港区田町・薩摩藩蔵屋敷跡(現在の三菱自動車ショールームあたり)は、勝海舟と西郷隆盛が1868年3月13日、江戸開城交渉(14日)に交渉成立。その結果、江戸無血開城が実現する)を行った場所として有名である。(場所は、四・五面中央の江戸・東京地図(口)の位置を参照)

この会談は、江戸約百万市民を救っただけでなく、江戸の町づくりを現在の大都市東京につなげたことでも功績が大きい。もし、両者の英断がなければ江戸の町は焦土と化し、江戸城を取り巻く堀り全体も埋め尽くされ、現在の東京は全く別の姿になっていたであろう。いや日本のかたちも……。今日、東京の街づくりに残っている江戸情緒や香りなど、豊かな文化が重層する東京の魅力は半減していたに違いない。その後の日本は、江戸の町を基盤にして近代化した。そのような意味で、現在の東京の形態や日本の発展は、「勝・西郷会談」の日から始まったと言っても過言ではない。

9 歌舞伎座 (東銀座)

歌舞伎座と歌舞伎座タワーから構成されている複合施設。歌舞伎座は開場から127年。建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた。歌舞伎座タワーは、歌舞伎座キアリー等を有するオフィスタワーです。

10 東京スカイツリー

スカイツリーの建築技術
2012年2月竣工：高さ634m：自立式電波塔
1. ナックル・ウォール導入→基礎の部分に使用する工法。
2. リフトアップ導入→ゲイン塔と呼ばれる165m(アンテナの長さ)引上げ工法。
3. スリップフォームの導入→真ん中にある375mの心柱を構築する工法。細長い敷地のため、三点でバランスさせた画期的な平面計画。耐震設計は日本古来の伝統建築・五重塔の優れた構造(心柱)を生かす。イルミネーションにも伝統美が図られ、淡いブルーの「粋・いき」と淡い紫色の「雅・みやび」で、東京の美意識を反映。

「変貌する東京の街、過去・現在・未来」の編集にあたり

第31号～編集・参加のお誘い～平成29年総会で呼びかけました。「東京2020オリンピック・パラリンピック開催へチャレンジ精神で走れ」をタイトルとして皆様との協働で平成29年7月ステップアップ見学会を15名の参加を得て実施しました。同窓生をはじめ多くの関係者のご協力をいただき大きな成果を出すことができました。建築物や土木構築物は先人の知恵や情熱、行動力が街を造り、東京は未来へ向って魅力ある街づくりが進んでいます。今後に向けて、推薦の歴史的重要な建造物を知る方も多いためです。内容、情報をご教示ください。よろしくお祈りします。

編集担当：策村隆巳・野間善治・吉留浩一・下前和則・平山正義・大隣定・篠原孝志・柿迫浩人・草原陸雄

祝 関東さつなん 31号

昭和49年建築科卒業
トシ・カツ・サチ・マサ&サダム

「ステップアップ見学会 in 東京」報告

見学ルート：1→2→3→4→5→6→7→8



後方は、トンネル(マッカーサー道路)の入り口。トンネル上部は虎ノ門ヒルズの庭園。参加メンバーの集合写真

参加者のコメント：
◆都心をゆっくり見ることが初めてでした。金刀比羅宮で御朱印に出会うことで興味として始めたいと思います。(機械科卒：田中逸穂さん)
◆2020年東京開催のオリンピックに向けて建築科らしい企画と仲間と有意義な1日でした。(建築科S40年卒木村績さん)
◆暑い時に歩き始め、2本のタオル、シャツがびしょり。参加者がどんな関係かわからない中、歩きながら話しているうちに仲良くなり楽しい時間でした。(山崎幸雄さん)
◆現場では目にできない多くの人が建物を利用してしている風景は改めて造る喜び、責任を感じました。(柿迫浩人さん)
◆真夏の「まちあるき」は覚悟がいります。が楽しかった。(建築科S49年卒平山正義さん)
◆Tokyo Never Sleep! (大隣 定さん)
◆知寛中学校同窓生に誘われ参加。有意義な1日でした。有難うございました。(石田京子さん)
◆未来の東京の姿。新虎通りは街路樹やオープンカフェに。虎ノ門ヒルズの脇にひっそりそびえる換気塔。携わった「関東さつなん」同窓生の頑張りに感謝。(草原陸雄さん)
◆途中からの参加でしたが、興味ある場所を見学できました。次回も、楽しい企画をお願いいたします。(松永健治さん)
◆まち歩きや醍醐味「見る・聞く・食する」の三拍子揃った見学会でした。(吉留浩一さん)
◆草原さんから誘われ参加。夏の暑い日中でしたが、多くの方との「対話」が楽しかった。(橋本よえさん)

8 東京五輪選手村 建設予定地 (晴海)



現況 (工事中) 東京都HPより
事業面積 18ha：棟数 24：住宅戸数約 5560戸
：事業費約 540 億。
東京都中央区晴海地区に整備。晴海地区は水辺の景観に優れ、都心に近いなど良好な立地が特色。
未来は東京の顔になります。選手村として利用し、大会後はレジャーとして多様な交流の場で快適な都市生活を営む魅力の街になる予定です。



1 金刀比羅宮 (ことひらぐう)



金刀比羅宮は、メトロ銀座線虎ノ門駅近くに位置する神社。「こんびらさん」と親しまれている。金刀比羅宮の社務所は、虎ノ門琴平タワーと神楽殿施設が一体となっています。

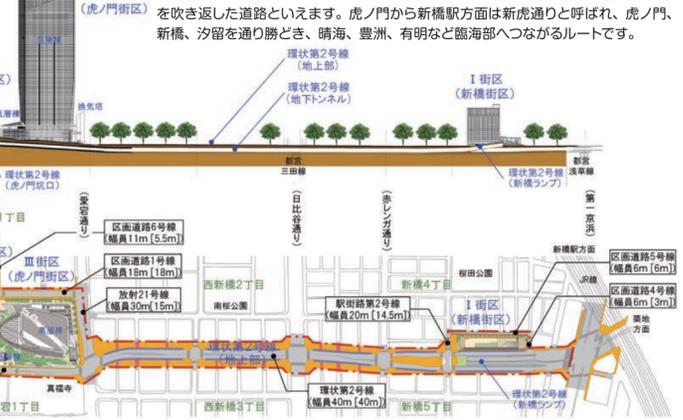
田中逸穂さんの御朱印で見学会の安全を祈願

2 虎ノ門ヒルズ



虎ノ門ヒルズは2014年6月に開業。設計：日本設計、施工：大林組。地上52階建て、高さ247mの超高層複合ビルです。1～4階は店舗、4、5階は国際会議場、6～35階は事務所、37～46階は住居、47～52階はホテルになっています。

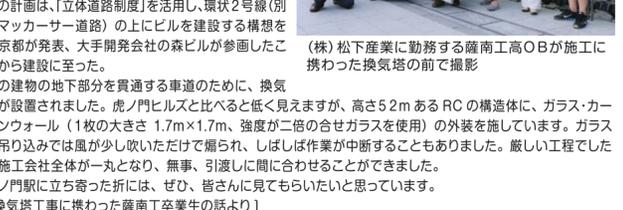
3 マッカーサー道路 (東京都計画道路環状2号線)



東京都計画道路環状2号線は、戦後の1945年、GHQ(連合軍最高司令官司令部)の司令官ダグラス・マッカーサーに由来する道路。2020年の東京五輪開催で息を吹き返した道路といえます。虎ノ門から新橋駅方面は新虎通りと呼ばれ、虎ノ門、新橋、汐留を通り勝どき、晴海、豊洲、有明など臨海部へつながるルートです。



虎ノ門ヒルズについて
虎ノ門ヒルズは2014年6月に開業。設計：日本設計、施工：大林組。地上52階建て、高さ247mの超高層複合ビルです。1～4階は店舗、4、5階は国際会議場、6～35階は事務所、37～46階は住居、47～52階はホテルになっています。



虎ノ門ヒルズエリア全体像
2019年・2022年に新たな3棟の超高層タワーが加わる。虎ノ門ヒルズは区域面積7.5ha、延床面積80万㎡に拡大。また道路や地下通路、日比谷線虎ノ門新駅(2020年使用開始)などの交通インフラとも一体化した複合施設になり、国際新都心グローバルビジネスセンターに進化します。(森ビル虎ノ門ヒルズファクトシートより)

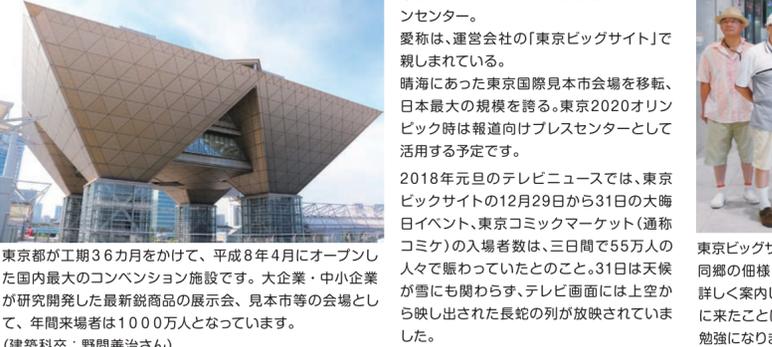
特集 変貌する東京の街 過去・現在・未来



7 豊洲市場 (築地市場の移転先予定地)



6 東京国際展示場 (東京ビックサイト)



5 汐留シオサイト

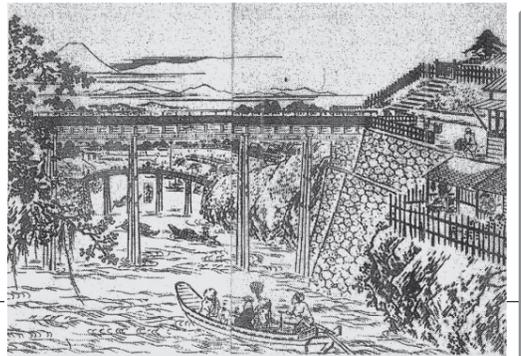
汐留は、港区の旧町名です。主に汐留地区に建設された大規模開発ゾーン「汐留シオサイト」を指します。現在は、東新橋の大部分と海岸1丁目の一部をき、旧国鉄汐留貨物駅跡地(JR新橋駅近く)を利用した都内でも屈指の大規模再開発エリアです。敷地内には、日本テレビ本社ビルやホテル、複合ビルなどが立ち並んでいます。各施設が地下で繋がって利便性が高く、若者からお年寄りまで親しまれるエリアとなっています。



祝 関東さつなん

- 建築科役員有志
- 野間 善治(S36年卒)
 - 吉留 浩一(S42年卒)
 - 草原 陸雄(S46年卒)
 - 小藺 照美(S50年卒)
 - 篠原 孝志(S52年卒)
 - 柿迫 浩人(S60年卒)

江戸の町づくりが東京の都市骨格に



水上路にも利用された外堀(神田川(外濠))の水道橋付近「御茶の水と水道橋」(江戸名所図会より部分)

一 東京の成り立ち

東京の都市構造の成立は、江戸の町づくりに基づく。その江戸の構想は、平安京(京都)の理念となった「四神相応」にならって計画されている。江戸の「四神相応」とは、江戸城を中心にして、東に流れる平川を青竜に、南の東京湾を朱雀に、西の東海道を白虎に、北に武蔵野の麴町台地を玄武にと考えられたものことである。また、京の鬼門(東北方向)にあたる比叡山延暦寺に上野、上野に東叡山寛永寺を見立てている。しかし、まちの形態は平安京が「内法制の町割り」(格子状区画)になっているのに対して、江戸の都市構成の骨格は「渦巻き形状」であることが大きな違いである。

1868年、明治維新で江戸から東京へ急速な近代化を進められた背景に、江戸には参勤交代の制度を廃止してから広い武家屋敷が空き家のまま残っていたことがある。日本の近代化には多くの用地が必要で、政府・官公庁、防衛庁、迎賓館、教育関係の諸施設、諸外国の外公館文化施設・都市公園などに旧武家屋敷の用地が利用された。また、それらを支えた経済・江戸

文化・商業活動には町人地が発展し、活かされた感がある。以上のことから、日本の政治・経済の中心都市へと発展した東京、その都市空間の基盤は、旧武家屋敷の跡地や渦巻き状の堀など、江戸の総合的な都市構成によるところが大きいと言える。1964年(昭和39年)の東京オリンピック・パラリンピック時には、首都高速道路の用地として多くの貴重な堀が利用されたために、江戸の水上路の面影は薄れつつある。そのことは今日、東京都の都市環境・景観を考えると、改善していく必要を強く感じている。

二 東京上野 国立西洋美術館が世界文化遺産に

「近代建築の巨匠」と称され、フランスの建築家、ル・コルビュジエ設計の東京上野に在る国立西洋美術館本館(昭和34年完成)が2016年(平成28年)7月、世界文化遺産に登録決定された。

国立西洋美術館は、コルビュジエの設計思想で言うところのピロティ、緩やかなスロープ、トップサイド・ライト(天窗)、無限に増築できる「渦巻きプラン」など考慮した、当時としては大変に斬新な美術館である。私の師である丹下健三先生も影響を強く受け、所員もコルビュジエの作品集から多くの考え方を吸収したものである。

また、近接して建てられている東京都文化会館は、コルビュジエに学んだ日本を代表する建築家・前川国男氏の設計で、大小二つのホールを備えた都内屈指の近代建築である。

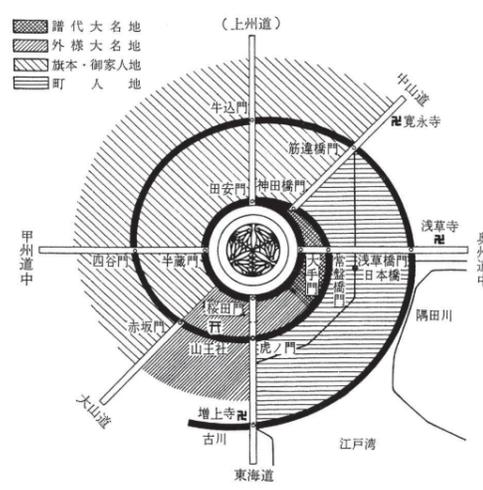
三 まとめ

江戸の町づくり(都市構成)と、ル・コルビュジエが設計した国立西洋美術館本館の平面計画の共通点を集約すると次の三点にある。

- ① 無のところに有(形)を与えるための「機能的かつ合理的」な発想。
② 形態の基本形をなす「渦巻き形状」の特徴(無限の発展)を最大に活用している。
③ 一方では都市の、他方では建築の「無限の展開」を思考していた。

偶然にも、東京(江戸)の都市構造と東京上野に建設された国立西洋美術館は、共通の意図を持って計画されたことに驚きを感じると同時に、今回の世界文化遺産登録に二重の喜びをかみ締めているところです。
編集部 文責 吉留浩一

江戸湾や荒川、墨田川、渦巻き状の堀を利用した水上路と、江戸城を中心に放射状に延びる陸上路的五街道(東海道・甲州道・中山道・奥州道・上州道)後に中山道)が主体であった。江戸時代(1670年)の「土地利用と都市構成」を模式図で示すと以下のとおりである。そこで、私なりに江戸の「渦巻き形状」の堀と土地利用の利点を要約すると、
① 川と堀の役目は、戦国時代、周囲の攻撃からの防衛が第一目的だが、江戸城では渦巻き状に連



江戸の土地利用と都市構成の模式図(1670年) 内藤昌著『江戸と江戸城』鹿島研究所出版より ※江戸の町づくりが「渦巻き形状」になっていることが明快に示されている。

株式会社 リョーワ
取締役会長 小田代 實秋 (S35年 冶金科卒)
〒340-0811 埼玉県八潮市大字二丁目1,112番地9
TEL 048(999)2411(代) FAX 048(999)2414

ARCHITECTS ASSOCIATES YOKOHAMA
株式会社 アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ
代表取締役 平山 正義 (昭和49年 建築科卒)
横浜市西区桜木町5-24-3 サンワビル
TEL045(201)7062-FAX045(201)7176
URL http://www.aa-yokohama.co.jp

建築科 33卒会 (関東地区会員)
事務局長 宿里 耕平 加治佐 茂
幹事 川崎 明 後藤 實
幹事 塗木 幸夫 新沢 勝
幹事 紀 健次郎 二田 満徳
幹事 川野 利弘 前山 一夫
幹事 今給黎昌俊 真畑 正盛
幹事 上野 信行 建築科 37年卒 中川 笑子
幹事 神門 静鹿
事務局 〒192-0364 東京都八王子市南大沢4-13-1-402 宿里宅

株式会社 SAWAコーポレーション
代表取締役 沢津橋 敏郎 (昭和49年 建築科卒)
クリニックのプランから施工 リフォームの各種改修
〒239-0806 神奈川県横須賀市池田町 1-1-5-307
TEL・FAX 046-876-9218
携帯 080-3219-0976
E-mail: sawatsubashi.t@gmail.com

安全・快適な空間づくりを目指す 株式会社 松下産業
建築・土木施工管理者 建築設備職 中途採用募集中!
代表取締役社長 松下和正
顧問 繁村隆巳 (建築S.34卒) 他OB7名在籍
東京都文京区本郷1-34-4
TEL:03-3814-6901(代)
http://www.mats.co.jp

鹿児島直送のさつまあげ、いも焼酎が飲める店
さつま
神出駅北口徒歩30秒
〒101-0047 千代田区内神田3-21-2
TEL 03-3252-8728
店主 中川 笑子 (山姓馬場) (S37年 建築科卒)

電気科45年卒一同
阿久根 学・蘭田 哲昭
上原 亨・田中 春夫
山口教之・松山 義弘
取違 道夫・塗木 孝治

代表取締役 折尾 崇 (H7年 機械科卒)
「出会えてよかった」といわれる会社でありたい。
お客様へ新しい価値を創造し 地域社会に貢献します。
お気軽にご相談ください。
全力でご支援させていただきます。
株式会社オリオ
不動産、賃貸、売買、コンサルティング
東京都知事(1)第96006号
TEL.03-6805-4300 FAX.03-6805-2370
all@ml.orio-realestate.com
〒154-0024 世田谷区三軒茶屋 2-20-11-1F

地元で育てられて、おかげさまで39周年
牧添土地家屋調査士・行政書士事務所
土地家屋の登記・調査・測量・境界確認の専門家
土地利用許認可・会社法人設立等の官公署許可申請の専門家
所長 牧添 豊海 (S40年 土木科卒)
〒267-0061 千葉市緑区上気町370番地6
TEL 043(294)3766
FAX 043(295)3704

鹿児島県立薩南工業高等学校同窓会関東支部役員名簿 (案)

平成 30 年 4 月 1 日

役職名	氏名	専科	卒年	〒	自宅住所	自宅電話
会長	福留 勲	土木	44			
副会長	中木原盛夫	普通	33			
副会長	桑木野 智	電気	41			
副会長	山崎 幸雄	電気	41			
副会長	阿久根 学	電気	45			
副会長	田中 逸穂	機械	48			
常任幹事長	草原 睦雄	建築	46			
常任幹事	柿迫 浩人	建築	60			
常任幹事	新原 亨	土木	49			
常任幹事	松永 健治	採鉱	33			
常任幹事	下野 敏孝	普通	33			
常任幹事	岩井 宗志	機械	40			
常任幹事	東垂水隆彦	機械	49			
会計幹事(正)	吉留 浩一	建築	42			
会計幹事(副)	篠原 孝志	建築	52			
会計監査	草原 義博	土木	36			
会計監査	下前 和則	建築	45			
事務局長	阿久根学(兼)	電気	45			
事務局	柿迫浩人(兼)	建築	60			
幹事	大隣 定	建築	49			
幹事	平山 正義	建築	49			
幹事	西野 洋一	土木	55			
幹事	市坪 勝則	土木	58			
幹事	丸野 喬敬	冶金	35			
幹事	小田代實秋	冶金	35			
幹事	福元 倉吉	冶金	38			
幹事	黒瀬 勝弘	機械	37			
幹事	折尾 崇	機械	H7			
幹事	柳 絹子	電気	47			
幹事	藺田 哲昭	電気	45			
幹事	羽生千代子	普通	31			
名譽顧問	永崎 一則	建築	19			
顧問	古市 仲	冶金	26			
顧問	田代 實範	土木	27			
顧問	東 治男	普通	32			
顧問	松山 達郎	普通	32			
顧問	川野 利弘	建築	33			
顧問	繁村 隆巳	建築	34			
顧問	桃藺 和好	土木	35			
顧問	野間 善治	建築	36			

個人情報保護のため WEB版では非掲載しております。

平成二十九年 度 会 務 報 告

四月一日・会報関東さつなん第二千号第一回校正・(盈進社) 四名出席
 四月八日・会報関東さつなん第二千号最終校正・(盈進社) 八名出席
 四月十一日・会報関東さつなん第二千号印刷前チェック・(盈進社) 一名出席
 四月二十二日・支部総会案内と会報「関東さつなん」第二千号發送と支部総会役員分担任について 十五名出席(ピーエス技研) 六月三日・川辺高校東京同窓会総会(新宿ワシントンホテル) 一名出席
 六月十日・役員会(松下産業) 十六名出席
 ・支部総会役員分担任について最終確認
 六月二十四日・関東支部総会(水月ホテル鶴外荘) 各科の出席者内訳(建築二十一名・土木十四名・採石十名・機械十三名・電気情報八名・普通四名・母校四名・友好団体十二名・合計九十八名。会務報告と会計報告のあと母校からの橋口会長、中間教頭先生、同窓会事務局の有蘭先生、橋口先生の四人から同窓会や学校の報告があった。
 特別講演は、機械科卒業で川辺出身の岩井宗志氏が講師で、「次の世代へ...」語りをもって語れるまちづくり...」と題し講演された。岩井さん所有の町家建築を「まちがく」博物館として市民に開放し地元元ボランティアの方々のご支援を頂きながら保存に取り組んでいることの話した。
 総会でのビンゴゲーム売上金は母校生徒会に寄付した。
 また、今回も踊りは、さつなんの会の七名の皆様が懇親会を大いに盛り上げてくれた。

全体的には参加者がまた少し減少したので今年こそは何か工夫して出席者を増やしたい。
 七月二十二日・建築科主催の東京名所めぐり・炎天下の中、虎ノ門から東京ビッグサイトなどを巡った。十五名の参加。まさに東京二〇二〇五輪の暑さを体感しました。とにかく暑かった。
 八月五日・南さつなん会と会報(新宿ワシントンホテル) 一名出席
 九月二日・加治木工業高校同窓会関東支部総会(三州会館) 一名出席
 九月十六日・役員会
 ①総会の反省
 ②母校より発表
 ③新会員の発掘について(瀬徳亭) 十七名出席
 十月十五日・関東知覧会総会(アルカディア市ヶ谷) 一名出席
 十一月二日・役員会(瀬徳亭) 二十名出席
 ①総会案内發送までの作業・役員等確認
 ②会報「関東さつなん」第三千一号の編集方針について(建築科)
 ③報告事項
 一月十三日・臨時役員会(銀座・関電二十事務所) 十名出席
 ①母校ソフトボール部が県大会優勝・全国大会へ出場に伴う資金集めについて
 ②会報「関東さつなん」第二千一号編集状況について
 ③原稿、広告依頼先の確認・郵送

④二十九年運営方針について
 ⑤新会員入会促進の件
 ⑥特別講演について
 三月十一日・関東さつなん川辺会総会(ホテルメトロポリタンエドモンド・飯田橋) 一名出席 (常任幹事長 山崎幸雄)
編集後記
 今回建築科担当の会報第三千一号をお届けします。次の三点の目標を掲げて取り組みました。
 ①建築科らしい会報の作成
 ②東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック大会へチャレンジ精神で走れ
 ③母校との絆を強くする
 四・五面に特集号を考え、取材のためステップアップ見学会を実施。東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック関連施設を主に七月下旬の暑い日中、急ピッチで進む工事現場や施設を見学と体験しました。ご参加頂いた皆さまに深く敬意を表します。
 また、第三千一号は伝統継承の意味から建築科卒業の永崎先輩の特別寄稿を企画しました。読みやすい冊子に仕上がりが感無量の面持ちです。さらに、母校の生徒たちの躍動する笑顔の写真が最大の見どころです。
 これから「関東さつなん」同窓会を通して、明るく元気に人生が楽しくなる、取組みを推進していきます。皆さまとの無意識の会話の中に、人間関係の対応能力を学びました。私の人生の進化に繋がる宝となります。
 編集・校正・発行に携わっていただいた多くの方々にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。
 編集長 昭和四十六年建築科卒業 草原睦雄

焼酎の魂は、薩摩から。

星のふる町：やすらぎの里
関東さつなん川辺会
 会長 川野 博一
 副会長 大坪 剛
 副会長 東 昭雄 (兼任)
 副会長 吉留 浩一 (兼任)
 会計監査 野間 善治 (建36)
 会計監査 大平 キヨ子
 幹事長 東 昭雄 (建38)
 副幹事長 本田 和幸
 事務局 〒181-0005 三鷹市中原 3-8-30
 ☎ 0422-26-7065 吉留 浩一 (建42)
 — 薩南工高出身役員 —
 古市 仲 (治26) 芝原 正志 (土39)
 水溜 廣幸 (土43) 草原 睦雄 (建46)

株式会社ピーエス技研
 〈低炭素社会を目指す企業〉
 〒196-0002 東京都昭島市拜島町 1-8-2
 TEL 042-549-1957
 FAX 042-549-1958
 代表取締役社長 阿久根 学
 S45年 電気科卒

ユーラステクノ株式会社
 URAS TECHNO
 世界標準バイブレータ
“Uras”
 ・振動技術で社会に貢献
 ニッチ産業で世界を目指す
 ・ゆらすから⇒ユーラス
 面白い・洒落の利いた会社
 技術部 東垂水 隆彦 (S49年 機械科卒)
薩南工 チェスト!
 東京都千代田区内神田2丁目16番地9号
 センボービル2F
 TEL:03-3254-6101(代) FAX:03-3254-6105
<http://www.uras-techno.co.jp>

関東さつなん
 機械科卒有志
 ・黒瀬 勝弘(S37) ・蔵前 充廣(S37)
 ・藤田 和弘(S38) ・宮原 秀朗(S38)
 ・岩井 宗志(S40) ・村上 興隆(S40)
 ・尾曲 正孝(S41) ・西元 博文(S43)
 ・田中 逸穂(S48) ・東垂水隆彦(S49)
 お元気ですか……
 同窓会で飲みましょう。

祝 関東さつなん
 関東支部発足 60 周年
 電気科・情報技術科役員一同
 副会長 桑木野 智 第1回S41年卒
 副会長 山崎 幸雄 第1回S41年卒
 副会長 阿久根 学 第5回S45年卒
 幹事 柳 絹子 第7回S47年卒
 幹事 藺田 哲昭 第5回S45年卒
 たまには 同窓会に参加してみませんか
 すごく楽しいですよ・・・“そだねー”

株式会社 クリエス
 代表取締役 下前 和則
 (S45年 建築科卒)
 E-mail:k_shimomae@h-creas.co.jp
 携帯：090-8809-3820
 〒192-0045
 東京都八王子市大和田町 5丁目 17-33
 内藤第2ビル 301号室
 TEL 042-649-1067 FAX 042-649-1068

知的創造
 何を創るかはおまかせします。
 どのように進めるかをお手伝いします。
 企画編集から製本まで 自費出版
 大歓迎!! カラー名刺・絵ハガキ・
 封筒・ポスター・横断幕小部数でも
 安価でできます ご相談下さい。
 株式会社 **盈進社** 代表取締役社長 下園 典子
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-2 三信ビル
 TEL 03-3262-3471(代) FAX 03-5210-7226
 URL: www.eishinsya.co.jp Eメール: info@eishinsya.co.jp